

日本陸水学会甲信越支部会 第 49 回研究発表会プログラム

2023 年 12 月 2 日(土)～3 日(日)

発表会場: 信州大学理学部 C 棟 2 階大会議室(松本キャンパス)

懇親会会場: 旭会館 2 階ライジングサン(松本キャンパス)

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1

URL: <https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/guide/matsumoto/>

大会実行委員長: 朴虎東

要旨集作成(庶務幹事): 芹澤如比古

会長: 朴虎東

日 程

月 日	時間	行事等
12月2日(土)	13:00-13:10	開会挨拶 (副会長: 志賀先生)
	13:10-14:06	口頭発表4題(1) O-01～O-04 ¹⁾
	14:06-14:16	休憩
	14:16-15:12	口頭発表4題(2) O-05～O-08 ¹⁾
	15:12-15:22	休憩
	15:22-16:04	口頭発表3題(3) O-09～O-11 ¹⁾
	16:10-16:35	ポスターセッション前半奇数番号 P-01, 03, 05, 07, 09 ²⁾
	16:35-17:00	ポスターセッション後半偶数番号 P-02, 04, 06, 08, 10 ²⁾
	17:00-17:05	休憩
	17:05-17:45	幹事会・総会
	18:00-20:00	懇親会
12月3日(日)	9:00- 9:56	口頭発表4題(4) O-12～O-15 ¹⁾
	9:56-10:06	休憩
	10:06-11:16	口頭発表5題(5) O-16～O-20 ¹⁾
	11:16-11:40	休憩・発表賞審査
	11:40-12:00	閉会挨拶・優秀発表賞表彰 (会長: 朴先生)
	12:00	写真撮影・解散

参 加 費: 一般 1,000 円, 学生 500 円

懇親会費: 一般 5,000 円, 学生 3,500 円

受付は 12:30 から行いますので, グループ単位でまとめてお支払いください。

名札はこちらでは用意しませんので, 各自でご準備ください。

1)口頭発表は, 1 人発表時間 10 分, 質疑 3 分, 交代時間 1 分の合計 14 分です。時間厳守をお願いします。

2)ポスター発表の方は受付後, 直ちにポスターを掲示してください。ポスターパネルと画鋏などは会場で用意します。ポスターは横 90cm, 縦 180cm 以内で作成してください。演題番号が奇数の方はポスターセッションの前半 25 分, 偶数の方は後半 25 分, 自身のパネルの前に立ちプレゼンと質疑応答を行ってください。

発表プログラム

開始時間	12月2日(土)	13:00-17:45
13:00	開会の言葉：志賀隆 副会長 口頭発表4題(1) 座長：佐藤秀美	
13:10	O-01	2023年高温が2種シマトビケラ科幼虫の世代数に与えた影響 ～千曲川中流域における常田地区と岩野地区に注目して～ ○降幡信我・岡田隆佑・武田昌昭・平林公男 (○：信州大学繊維学部4年)
13:24	O-02*	脱皮殻によるユスリカ相把握の試みと日本産ユスリカ類脱皮殻検索表の作成 ○平林公男・山本直 (○：信州大学繊維学部)
13:38	O-03	琵琶湖における餌環境とカブトミジンコのろ過スクリーン面積の関係 ○土屋寛恭・米山貴将・永田貴丸・岡本高弘・坂本正樹 (○：富山県立大学4年)
13:52	O-04	簡易的なクロレラの大量培養方法の開発 ○利根川蒼・宮本泰行・坂本正樹 (○：富山県立大学4年)
14:06	休憩	
	口頭発表4題(2) 座長：斉藤諒	
14:16	O-05	富山県氷見市のオニバス再生に向けた流水シミュレーション 一流路拡幅の影響評価ー ○藤下龍澄・中田成星・川本朋慶・呉修一 (○：富山県立大学大学院修士課程1年)
14:30	O-06	五十公野丘陵および升潟(新潟県新発田市)における植物相と絶滅危惧種の分布 ○小池真裕・志賀隆 (○：新潟大学教育学部4年)
14:44	O-07	青森県つがる市で発見されたヒルムシロ属新雑種ツガルミズヒキモ ○三浦克仁・内藤芳香・志賀隆 (○：新潟大学教育学部4年)
14:58	O-08	諏訪湖の植物プランクトン増殖における栄養塩制限の解明 ○奥石庸行・宮原裕一 (○：信州大学理学部4年)
15:12	休憩	
	口頭発表4題(3) 座長：内藤芳香	
15:22	O-09	諏訪湖におけるワカサギ, オオクチバス, ブルーギルの耳石径と標準体長の関係式 ○加藤浩之・笠原里恵 (○：信州大学理学部4年)
15:36	O-10	諏訪湖におけるササゴイの基礎的な繁殖生態の解明 ○田嶋樹・笠原里恵 (○：信州大学理学部4年)

- 15:50 O-11 カメラトラップ法を用いたブドウ園における加害鳥獣の把握
○末石萌乃・笠原里恵・川田和輝・尾関竣哉・佐藤寛之
(○:信州大学理学部 4 年)
- 16:04 休憩
- ポスターセッション前半奇数番号(P-01, P-03, P-05, P-07, P-09)
- 16:10 P-01 植物プランクトンのリン獲得と湖水中アルカリホスファターゼ
○市川雄貴・宮原裕一
(○:信州大学大学院博士課程 3 年)
- P-03 日本で繁殖するチドリ類 2 種のミトコンドリア DNA を用いた
遺伝的多様性と集団間の関係
○中嶋瑞美・笠原里恵・西海功・榮村奈緒子・今野美和・
今野怜・今西貞夫・東信行・中村太士・森本元
(○:信州大学大学院修士課程 2 年)
- P-05 諏訪湖における沈水植物の分布に影響を与える環境要因
○斉藤諒・宮原裕一
(○:信州大学大学院 修士課程 1 年)
- P-07 地球温暖化が富山県河川の極端洪水に与える影響評価
○柊澤志寿・呉修一
(○:富山県立大学 4 年)
- P-09* 環境保全型桃園と慣行型桃園の下草植物相
○芹澤如比古・芹澤(松山)和世・佐藤幸恵・片岡良太
(○:山梨大学教育学部)
- ポスターセッション後半偶数番号(P-02, P-04, P-06, P-08, P-10)
- 16:35 P-02 諏訪湖に生息するオオクチバスの秋～冬季の食性と年比較
○龍野紘明・笠原里恵
(○:信州大学大学院博士課程 2 年)
- P-04 2023 年の諏訪湖におけるカプトミジンコと植物プランクトンの出現状況
○佐藤秀美・笠原里恵
(○:信州大学大学院修士課程 1 年)
- P-06 時系列データから読み解く諏訪湖のプランクトン群集
○米山貴将・宮原裕一・坂本正樹
(○:富山県立大学)
- P-08* 水草生育時期の野尻湖における水温の連続測定 ①沈水植物の生育環境の検討
○樋口澄男・近藤洋一・北野聡・酒井昌幸・山川篤行・小平由美子・
新津雅美・酒井今朝重・深瀬英夫・峰村忠
(○:野尻湖水草復元研究会)
- P-10* 緩速ろ過でなく生物浄化法ー応用陸水生態学への招待
中本信忠
(元信州大繊維学部)
- 17:00 休憩
- 17:05 幹事会・総会
- 17:45 解散(懇親会参加者は会場に移動)
- 18:00 懇親会

開始時間	12月3日(日)	9:00-12:00
	口頭発表4題(4) 座長:市川雄貴	
9:00	O-12	2020年夏期における諏訪湖上および湖周に吹く風に関する時空間特性の分析 林美佑・○飯室遼・豊田政史 (○:信州大学工学部4年)
9:14	O-13	野尻湖周辺に吹く風の時空間特性と成層破壊期の流動特性把握 ○重松直樹・豊田政史・小松一弘 (○:信州大学大学院修士課程2年)
9:28	O-14	河道内の土砂動態と流路形態に着目した千曲川中流域における河道変遷 井土貴斗・○吉村芽唯・豊田政史 (○:信州大学工学部4年)
9:42	O-15	諏訪湖産水草マツモのアレロパシー物質の特定 ○岸田龍大・朴虎東 (○:信州大学大学院修士課程2年)
9:56	休憩	
	口頭発表5題(5) 座長:龍野紘明	
10:06	O-16	水中スピーカーの低周波を用いた藍藻の制御方法の開発 ○宇佐川輝・永峯亮弥・二木功子・朴虎東 (○:信州大学理学部4年)
10:20	O-17	セルリー <i>Apium graveolens</i> L.による ラン藻 <i>Microcystis aeruginosa</i> に対する抑制物質の探索 ○小野ひなた・浦井暖史・二木功子・朴虎東 (○:信州大学理学部4年)
10:34	O-18	陸生シアノバクテリア <i>Nostoc commune</i> の紫外線吸収物質の探索 ○齋藤彩乃・二木功子・朴虎東 (○:信州大学理学部4年)
10:48	O-19	糸状藍藻 <i>Cuspidothrix issatschenkoi</i> RM4 株における 神経毒 anatoxin-a の生産に影響する要因 ○杉山大悟・二木功子・朴虎東 (○:信州大学大学院修士課程2年)
11:02	O-20	有機リン添加による藍藻のメタン生成機構の解明 ○金馬直也・岩田拓記・浦井暖史・朴虎東 (○:信州大学大学院修士課程2年)
11:16	休憩・発表賞審査	
11:40	閉会の言葉・優秀口頭発表賞・優秀ポスター発表賞表彰: 朴虎東 会長	
12:00	写真撮影・解散	

注) 講演番号右肩の星印:発表賞選考の対象外